

平成 29 年度白書を読む会(九州・沖縄地域)アンケートで寄せられたコメント

場所: 北九州まなびと ESD ステーション

2-1

	大変よい	よい	普通	不満	大変不満
読む 会の 感想	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすかった。また、活動している方の思いが見えてよかった。 ・具体的な活動事例を聞くことができた ・分かりやすい内容であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明、資料共に分かりやすかった ・なかなか奥の深い難しい問題ですが、このような場を持つことが大切だと思う。 ・国の方針がだいたい理解できた。政治が大きく影響すると感じた。 ・白書をいきなり読むのは大変な作業であるが、解説があると分かりやすい。 ・政府、地域の取組がよく分かった。 ・白書の概要資料は分かりやすかった。 			「不満」「大変不満」を選んだ回答者はいない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・白書を読んだことがなかったため、今回機会があり学ぶことができた ・白書を読むことを通して SDGs についてよく考え知識をつけることができた ・雰囲気や内容が堅く感じた ・新しく知ることが多く勉強になった ・改めて深く知ることのできた良い機会となった 				

(注) 学生のうち7人については、とりまとめて回答していただき、感想ごとにコメントを分類するのは困難である。

2-2 興味を持った内容やもっと説明を聞きたかった内容

環境白書	ESD プロモート実習生による発表	フードバンク北九州ライフアゲインによる発表	意見交換
<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の娘の学校では3年間継続で総合的な学習の取組を行っている。テーマは「環境」。環境省のHPや白書を見ながら問題点は何であるか一所懸命考えている。(環境省が)子どもたち向けに 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の皆さんが活動していることはすごく影響力があると思う。「知ってもらう」ことから始めていく努力をやめてはならないと感じた。 ・情報発信と他大学校との連携の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・「システムを整える」との説明があったが、現在どのようなサポートがあるのか。 ・運動の広がりや経過と運転資金の工面をどのように行っているか。 ・興味深かったが早かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や NPO の生の声が聞けてよかった。 ・学生が ESD に取り組まれている姿に頼もしく思った。卒業後にも ESD で学んだ

環境白書	ESD プロモート実習生による発表	フードバンク北九州ライフアゲインによる発表	意見交換
<p>説明するならばどのようなようになるだろうかということに興味がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標(数値設定)と課題の設定はされているが、いつも達成されない結果の分析に少なからず不満を覚える。 ・ESD活動を熱心に行っている学生に感心した。フードバンクの活動の難しさを知ることができた。 ・COP21で紹介された1000分の4イニシアティブについて現在検討中の内容が知りたい ・まとまっていてさらに要点を説明していただいたので、今後の環境マネジメント活動につなげていきたいと思う。 ・環境省が直接説明する機会はなかなかないため、いろいろな面で勉強になった。 ・地方自治体の対応や事例をもう少しみたかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州大学生の取り組み姿勢に感心した。男子学生の姿が見えないのは残念である。 ・まとまっていてさらに要点を説明していただいたので、今後の環境マネジメント活動につなげていきたいと思う。 ・学生がこのような活動をしているのに驚いた。 ・若者の発表に未来の明るさや活動の広がりを感じた。 ・「ESD」という言葉にこだわり過ぎている気がした。「SD」の必要性を伝えれば目的をかなえられると思うため、手段が目的化しないようにしてはいかかが。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい活動である。本来、地方自治体が取り組むべきである。国・政治家は勉強すべきだ。 ・まとまっていてさらに要点を説明していただいたので、今後の環境マネジメント活動につなげていきたいと思う。 ・食品ロス、例えば肉や魚などの廃棄については、私たちは同じ生物として命をいただいているため、命を粗末にする行為である廃棄をなくすことは大切な活動と思う。と同時に、貧困者へ食物が広まっていくという福祉面もカバーできるため社会全体に波及することが重要と思う。 	<p>ことがどのように活かされているのかについて知りたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまっていてさらに要点を説明していただいたので、今後の環境マネジメント活動につなげていきたいと思う。

2-3来年も「白書を読む会」に参加したいか(その理由)

参加	不参加	無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・環境政策の動向、時代の流れ、世の中の動き、事例など学習することができるから ・いつなぎの機会 ・白書というとハードルが高いと思っていたが、内容が分かりやすく今後も参加したと思った。 ・様々な部分をもっと学びたいから 	<p>具体的内容に踏み込んでもらいたい。</p>	<p>机があった方がよかった。</p>

3-1 ESD をどのように解釈したか

- ・より多くの方々に知っていただく必要のあるもの
- ・参加者が発言されたように「どう生きるか？」を考え、行動変容に促すことなのかと思う。
- ・経済と社会の発展ができる限り自然と共存し、環境破壊を引き起こさずに継続していけるように考えたり努力する教養
- ・中小企業が SDG に参加できる方法
- ・ESD は地域、現場に出て行くべきである。
- ・元々言葉の意味は知っていたが、具体的な活動内容を知ることは勉強になった。
- ・ESD を言葉として認識したのがこの会が初めてであったため、今後もっと理解できるように学びたいと思った。認知度が低いと感じる。
- ・多くの面から考えることのできるもの
- ・誰もが平等に幸せに暮らしていけるようにするために取り組む活動
- ・生活の基となるもの
- ・今後より推進すべき、世界中の人々が、平等に幸せに暮らしていけるようにするための活動
- ・未来の世代にできるだけツケをまわさない、より良いものを残す
- ・問題を他人事として捉えるのではなく自分事として捉え、身近なことからでも行動に移すべき

3-2 これから取り組みたい17のゴールは何か(具体的な内容も含む)

- ・SDG1(貧困をなくす) 2件
- ・SDG2(飢餓をなくす)
- ・SDG4(質の高い教育) 4件
- ・SDG5(ジェンダー平等) 2件
- ・SDG6(水と衛生) 1件
- ・SDG7(誰もが使えるクリーンエネルギー)
- ・SDG11(持続可能なまちづくり)
- ・SDG12(持続可能な消費と生産) 3件
- ・SDG13(気候変動へのアクション) 3件
- ・SDG14(海洋資源)
- ・SDG15(陸上資源)
- ・SDG16(平和、正義、有効な制度)

コメント:特にこれが重要。

- ・SDG17(目標達成に向けたパートナーシップ)2件

コメント:海外の方と共同で活動したい、多世代、多文化交流

※このほか学生7人からのとりまとめ結果として、SDG2(飢餓をなくす)、SDG4(質の高い教育)、SDG17(目標達成に向けたパートナーシップ)が挙げられている。

全般コメント:

- ・いろいろな部署と連携してなるべく小さい年齢から環境に関連した教養を多方面から取り組めるようにしたい。
- ・SDGsの活動自体を漠然とみていたため、今後もっと理解した上で取り組みたいゴールを決めたいと思う。
- ・SDGsを色々な母体に広めていきたい